

はばたき

■発行／秋田県大仙市教育委員会 太田公民館
TEL0187-88-1119

目次

表紙	てくてくウォーキング写真 ほか
鈴木空如展について	2P
太田図書館から、大仙市スポーツ賞表彰、 花いっぱい	3P
大仙市芸術文化賞、芸術発表会、 各種講座紹介	4P
おはら節全国大会ほか	5P
我が学び舎この一年	6~7P
チャレンジデー in大仙	8P



てくてくウォーキング (5月3日)
太台山にて



チャレンジデー2019 (5月29日)
太田南小にて



学びいフィールドワーク (7月27日)
オプ山大杉にて



山登り教室 (8月18日)
駒ヶ岳・乳頭山にて



花だんフェア (8月24・25日)
太田中学校にて



おはら節全国大会 (9月8日)
太田文化プラザにて

秋田県指定文化財

鈴木空如 筆

「法隆寺金堂壁画」展を開催しました。

3年ぶりとなる空如筆「法隆寺金堂壁画」展を5月24日(金)から6月9日(日)までの17日間展示し、586名の来観者がありました。

鈴木空如は、法隆寺金堂壁画12面を3度(計36枚)にわたり原寸大(縦3m)で模写しました。模写の方法は、壁面の亀裂や破損をそのまま写し取り、千年の時の経過までを写し取っています。



上野の東京国立博物館で展示されます！



鈴木空如筆「法隆寺金堂壁画」が、東京国立博物館特別展「法隆寺金堂壁画と百済観音」で展示されます。期間は、3月13日(金)から5月10日(日)まで、空如作品のうち法隆寺金堂壁画6号壁「阿弥陀浄土図」、10号壁「薬師浄土図」のほか14点が展示されます。また、空如筆「法隆寺金堂壁画」3作が同じ場所で展示されるのは、実に73年ぶりとなります。※新型コロナウイルスの感染予防のため、会期(未定)～5月10日(日)となりました。

高精細な複製品をつくりたい！

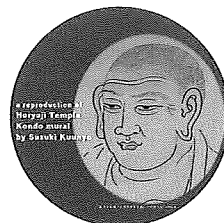
「鈴木空如を顕彰する会」(会長高貝久遠)は、空如の業績を広めようと原寸大(縦3m)の6号壁画「阿弥陀浄土図」、11号壁「普賢菩薩像」の高精細な複製品を制作するため、クラウドファンディング(事業への賛同者が資金を提供)で制作費を次のとおり募集しています。

複製品は、太田文化プラザ玄関口に通年展示いたします。詳しくは、「ファンあきた」のホームページか、太田公民館までお問合せください。

・募集期間

3月13日(金)～5月10日(日)

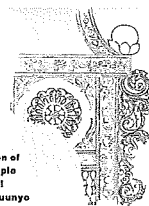
返礼品



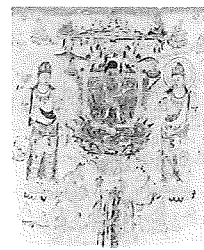
缶バッジ



ランチバッグ



トートバッグ



6号壁「阿弥陀浄土図」



11号壁「普賢菩薩像」

太田図書館

からのお知らせ

太田図書館には、約2万冊の本があります。お探しの本が太田図書館にない場合でも、市内の他の図書館や県立図書館などに蔵書されている場合は、取寄せることができますので、職員へご相談ください。

思わず手に取りたくなるような魅力的な本を取り揃えて、お待ちしております！

令和2年度より図書館の休館日が、毎週月曜日に変更となります。ご利用の際は、ご注意ください。

令和2年度の利用時間・休館日

<利用時間>

午前9時から午後5時まで

<休館日>

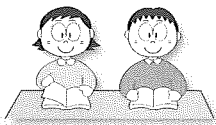
毎週月曜日

年末年始

12月29日から1月4日

資料整理日

10月（3日間）



大仙市スポーツ賞

大仙市では、スポーツの発展にご尽力された方や、各種競技で優れた成績を取めた個人・団体を表彰しております。今年は太田地域の次の皆さんが受賞されました。

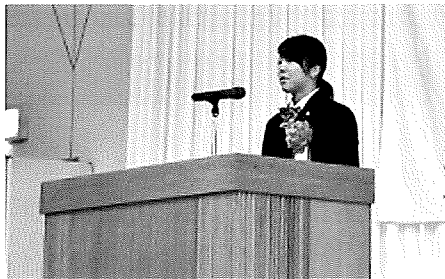
【冬季スポーツ賞】

○栄光賞・高橋凜湖（角館高2年・スキー）

○奨励賞・大信田光琉（太田小5年・スキー）

【スポーツ賞】

○奨励賞・小松奏音（太田東小6年・陸上）・山内航太（太田東小5年・ソフトテニス）・高貝ここあ（秋田北高1年・ソフトテニス）・高貝ひかり（秋田北高3年・ソフトテニス）・小松由依（太田南小5年・バドミントン）・高階蒼汰（太田東小5年・空手）・高階凜花（太田中2年・空手）・佐藤英里（能代松陽高3年・空手）・大信田光琉（太田小5年・ライフル射撃）



冬季スポーツ賞受賞者代表謝辞
高橋凜湖さん(令和元年5月17日)

花いっぱい

地域花だんの取組

太田地域では、令和元年度も花いっぱい運動の一環として自治会をはじめ17団体のご協力をいただきました。花苗の植え込みには、地域の皆さんのほかに、太田中学校生徒の皆さんからもお手伝いいただき、地域での世代間の交流が行われました。

第27回太田花だんフェアを開催しました。

おおた花の会との共催による太田花だんフェアを、8月24日（土）から25日（日）まで太田中学校を会場に開催したところ、150名余りの来場者がありました。25日には小雨の降る中、太田マーチングバンド「スプラウト」と太田中学校吹奏楽部の児童生徒たちによる、素晴らしい演奏があり太田花だんフェアを大いに盛り上げていただきました。

全町花いっぱいコンクール

8月20日（火）、昭和63年（1988）から続く、全町花いっぱいコンクールが開催されました。審査委員5名の審査のもと、個人61名、団体花だん29団体の花だんを審査しました。

全県花だんコンクール

9月12日（木）、県花いっぱい推進委員小野さん、毎日新聞社秋田支局長古川さんの審査のもと、個人2名、団体花だん14団体の花だん審査が行われました。なお当日は、秋田県花いっぱい運動の会会長佐竹睦子さんもオブザーバーとして参加され、太田地域の花だんをご覧いただきました。佐竹会長からは「太田の花だん作りは歴史があり、今後も活動を続けてほしい」との激励をいただきました。

また、秋田県花いっぱい運動の会から、石崎千代子さんが「今宿花の会」での長年の功労が認められ「花いっぱい運動功労表彰」受賞の榮譽に浴しております。



太田中学校吹奏楽部のみなさん

木元優子さんに奨励賞 大仙市芸術文化賞



(木元優子さん／前列左から2番目)

2月7日、令和元年度大仙市芸術文化賞表彰式がグランドパレス川端を会場に行われました。太田地域からは、木元優子さん(太田新田田尻)が大仙市芸術文化賞奨励賞を受賞されました。

木元さんは、平成20年(2008)に40年間務めた仕事を退職し、独学で絵を始めました。以降、日々自己研鑽に励み、数多くの美術展で輝かしい実績を収められています。

表彰式当日、会場には、木元さんの作品が展示され、来場者は繊細で美しい作品に感銘を受けていました。

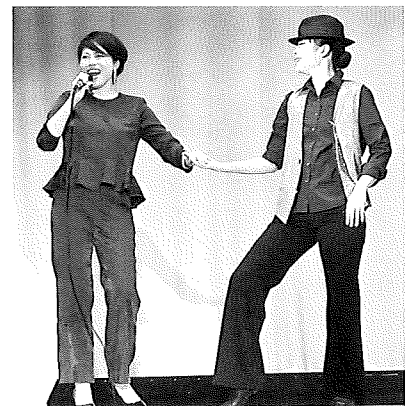
芸術発表会

太田地域芸術文化祭が10月26、27日、太田文化プラザを会場に開催されました。

芸術発表会は、日頃の文化活動の成果を発表・鑑賞する機会を設けることにより、芸術文化の振興を図り、心豊かな地域づくりのために実施されています。

会場には、生け花、押し花、絵画、水墨画、短歌、陶芸、手芸品などを展示。来場者は会員の作品を感心した様子で観賞されていました。

また舞台発表では、太田東小学校の「秋田県民歌」の大合唱に始まり、6団体3個人が、素晴らしい歌声や踊りを披露しました。今年のゲスト出演は、太田地域出身の草薙亜寿佳さんと南外地域在住のYUKAさん。ダンスと歌のコラボレーションステージは圧巻でした!



太田公民館の生涯学習講座

今年も太田公民館主催の生涯学習講座を開催し、沢山の方々からご参加いただきました。

- 山登り教室 ○ベジフル教室
- やきもの講座
- 親子陶芸教室 (おた陶芸同好会と共催)
- 料理講座 ○押し花講座 ○編み物講座

毎回参加してくださる方々から、初参加の方々まで、楽しい雰囲気の中で、講座に取り組みました。

来年度も様々な生涯学習講座を企画しておりますので、ご参加ください。

また、太田公民館では、「こういった講座をやってみたい!」というご意見を募集しております。皆様の貴重なご意見・ご要望をお待ちしております。

歌声響きわたる 第24回秋田おはら節全国大会

今年の出場者は、大賞の部 19 名、熟年の部 25 名、少年少女の部 4 名の計 48 名。県内外から実力者が集まり、自慢の美声を披露されました。成績は次のとおりです。

●大賞の部

- 優勝 高橋 惇 (由利本荘市)
- 準優勝 浅野 裕子 (愛知県名古屋市)
- 第3位 三浦九十九 (由利本荘市)
- 敢闘賞 須田 政博 (由利本荘市)
- 敢闘賞 山野 修二 (横手市)

●熟年の部

- 優勝 青木 強 (宮城県仙台市)
- 準優勝 塚田 和子 (秋田市)
- 第3位 工藤 米子 (秋田市)
- 敢闘賞 澁谷 四郎 (横手市)
- 敢闘賞 佐藤正太郎 (大仙市)

●少年少女の部

- 優秀賞 日戸 楓乃 (岩手県八幡平市)
- 敢闘賞 川井ふたば (秋田市)
- 努力賞 石川 空青 (秋田市)
- 努力賞 山田 千尋 (秋田市)



春季・冬季少年少女野球教室

元プロ野球選手が、太田地域のスポーツ少年団野球部に野球を教える「少年少女野球教室」を、春季は5月11日、冬季は12月15日に開催しました。

元プロ野球選手で、コーチ経験も豊富な講師からの指導とあって、子ども達は真剣なまなざしで指導を受けていました。



←春季野球教室
小西秀朗氏、村岡耕一氏ら5名の講師が指導した。

冬季野球教室→
伊藤剛氏、多田野数人氏が指導した。



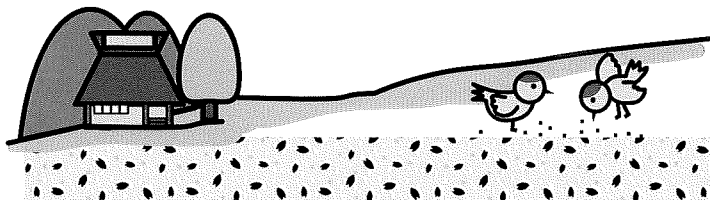
太田キッズ学びい教室

地域の方々や周辺地域の高校生等のボランティア指導員が、小学生の夏休み・冬休みに勉強の手助けをする「太田キッズ学びい教室」を今年度も開催しました。

夏休み・冬休みの宿題や、自主学習でわからないところを指導員が教えることにより、苦手意識の克服と、学習意欲の向上を目的として開催しています。

また、昨年好評だったフィールドワーク「オブ山の大杉探検」も開催しました。川や倒木を越え、オブ山の大杉を探検した参加者は、自然の壮大さを学んでいました。





我が学び舎

～印象に残る～

太田東小学校

ご存じの通り太田地域は、秋田県民謡の作詞者、倉田政嗣氏の出身地です。そういったことから、本校では、本年度いろいろな機会にこの県民謡を披露することに取り組んできました。

9月の学習発表会での披露に始まり、10月には太田地域芸術発表会で、さらに12月には、秋田ノーザンハピネットのホームゲームでも歌わせていただく機会をいただきました。この日は、倉田氏の出身である太田地域の小学校からの観戦ということで、わざわざ会場に紹介していただき、歌う際には、子供たちの前に数本のマイクまで立てていただきました。4,600名を超える大観衆と一緒に歌えたこと、そんな中で紹介までしていただけたことを多くの児童が嬉しく、誇りに感じ、同行した保護者からも「感激した」といった声を聞くことができました。

秋田県、そして太田に生まれ育った者として、地域の誇りといえる県民謡の素晴らしさと、それを歌い継ぐことの意義を改めて実感することができた一年となりました。



太田北小学校

今年度で13年目を迎えた本校の全校音楽劇。10月のリハーサル公演と本番公演に向けて、2月の物語プレゼンテーションからスタートしました。4・5年生の個々のアイデアをちりばめて、正に4・5年生15人が原作者となり、その15人で創作した物語の思いを汲み入れていただいたオリジナルのストーリーが、わらび座の方を通して脚本化されます。そのページ数たるや40ページ、そのページ数もさることながら、物語の内容も1年生から6年生までの年齢差5歳を超越したクオリティとなります。そして、子どもたちは届いた脚本を読み込み、オリジナルストーリーの世界に入り演じてみたい希望の役キャラクターイメージを膨らませます。そのイメージを抱いて7月、オーディションへのチャレンジ、そのオーディションで太田北小児童39名の個々の役が決まり、練習を重ねるたびに、なくてはならない自分の役、自分にしかできない役に誇りをもっていきます。その健気な姿に観客の皆様が感動してくれました。

地域と保護者の協力のもと、外部の方の指導を請い、子どもたちと全職員で創り上げる全校音楽劇は、公演までの1年間の学びのサイクルとして定着しています。すでに来年度のステージに向けた活動がスタートしています。



太田南小学校



横沢地区の伝統野菜「横沢曲がりねぎ」は、甘くて柔らかいことが特徴のねぎです。以前は多くの農家が栽培していましたが、手間暇がかかることもあり、栽培する農家が年々減少し、今では数件になってしまったそうです。

本校の3・4年生は、曲がりねぎを絶やさない、学校の狭い畑で毎年栽培しています。もちろん、子どもたちだけで育てるのは難しく、地域の農家や農業振興情報センターの職員の方々に、植栽から収穫までお手伝いをしてもらっています。昨年はべト病が発生し、夏休み中に何度も防除してもらうなど、例年以上に大きなご協力をいただきました。

そこで、お世話になった方々に何かお返しをしたいなど、なべっこ会に皆さんを招待し、鍋を味わっていただきました。甘いねぎがたくさん入った芋の汁を「おいしい、おいしい」とほめてもらって、子どもたちはとてもうれしそうでした。

県立大曲農業高等学校 太田分校

本校の郷土芸能部は、11月に行われた秋田県高等学校郷土芸能発表会において、最優秀賞に次ぐ審査員特別賞を受賞することができました。年度当初、郷土芸能部には部員不足の危機的状況がありましたが、運動部を引退した3年生を始め多くの生徒が助っ人部員として入部し最終的には総勢16名で出場することができました。入部した理由について生徒は口々に「全校民謡発表会での経験を生かしてみたかった」と話していたように、全校民謡発表会の経験が郷土芸能部への入部を後押ししてくれたのです。太田分校では太田地域等の民謡のお師匠さん方や東今泉八幡太鼓の方々のご協力をいただき全校民謡発表会を毎年学校祭で行うことができています。本番までにお師匠方から10回ほど手ほどきを受けますが、そうした指導を通して生徒は民謡の楽しさ、素晴らしさを体感できています。また、発表会には地元太田地域を始め多くの方々に見に来てもらい大きな達成感を感じています。



今回の受賞の陰には、そうした地域の方々の長年にわたる支えがあったおかげだと感謝しております。

この一年

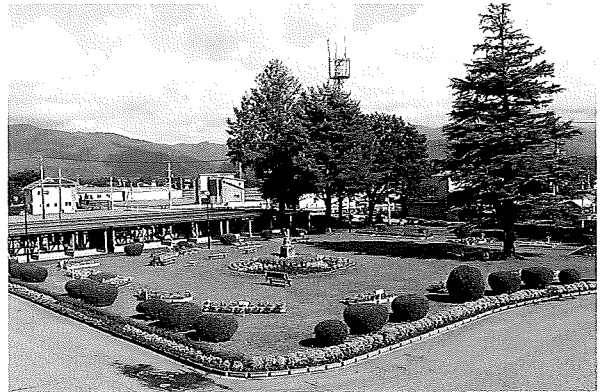
行事から

太田中学校

本校の本年度の教育目標には、「…地域から行動する生徒の育成」が掲げられています。そこで、本校生徒会では地域に貢献できる活動を模索した結果、「ハートフル・フラワー・プロジェクト」を実施することとなりました。このプロジェクトは「はなのまちおた」といいつつ、ミニ花壇フェアや岩手大槌への花のプランター贈呈などで外部に発信しているものの、一部の団体(学校)のみで、太田の住民には広がっていないのではないかとという生徒会の発案のもと全校生徒が賛同し、活動することとなりました。

活動内容は、高齢者のひとり暮らし世帯への「鉢花(ペゴニア)」のプレゼントです。現在、太田地域には170世帯余のひとり暮らし世帯があるといえます。もちろん、すべてが高齢者世帯ではないわけですが、全てに対応するのは不可能だということで、本年度は社会福祉協議会と連携して実施している「除雪ボランティア」に登録しているひとり暮らし世帯に贈ることになりました。生徒たちが丹念に育てたピンクに色を付けたペゴニアが約50軒余りの世帯に届けられました。冬には「除雪ボランティア」として、秋口には「花を届ける使者」として活動した生徒たちは、「こんなに感謝されるなんて…」一様に感激して帰ってきました。なかには生徒の手を握り涙を流す方もいたそうです。生徒たちは、「雪よせ」と「花の贈りもの」を通じて、地域に貢献することは、まずは地域の方とたくさん触れ合うことだと感じたに違いありません。

太田中学校は、今年度も全県花壇コンクールで「特別優秀賞(県教育長賞)」に輝きました。



おおたわんぱくランド“すくすく園”

7月17日、講師に菅沼理子氏をお招きして、家庭教育学級「親子で音楽遊び」を開催しました。

遊戯室に集まった保護者の皆さんと子どもたち。初めのうちはお家の人のひざの上が居心地よくぬくもりを感じて動きませんでした。菅沼先生の軽やかなピアノの音に合わせて歌をうたったり、曲のリズムやスピード、強弱に合わせて歩いたり走ったり、お家の人に低い位置から高い位置まで持ち上げてもらったりして体を動かす遊びをしていくうちに、会場は自然と「にこにこ」の笑顔に。

カラーポリ袋を貼り合わせた赤、黄、水色、緑などのカラフルな色の大きなバルーンでの遊びは大歓声が上がりました。保護者の皆さんが持つバルーンがピアノの曲に合わせて動くと、下をくぐり抜けたり飛び跳ねたり。キラキラ笑顔ははじけていました。

こうした園での楽しい遊びが、今後太田地域の小学校、中学校での音楽活動の活躍の源となれたらと感じた時間になりました。



おおたわんぱくランド“のびのび園”

7月に、年長児が真木苑を訪問し歌や踊りを披露するなどして交流してきました。

きっかけは年中組だった2月に施設に入っている方々を少しでも楽しませることができたらと、折り紙を折ったり切ったり貼ったりしてお雛様を作ったことです。しかしこの頃は高齢者の方にとってインフルエンザ感染に気を付けなければならない時期でしたので、直接会うことは避け、職員がその思いを届けてきました。そしていつか触れ合う機会をと相談し、実現したものです。

初めは緊張した様子が見られた子どもたちですが、手製の楽器でさざ波の音を出しながら「うみ」を歌っているうちに表情が和らいできました。おじいちゃんおばあちゃんは踊ったり歌ったりする子どもたちを見て、「めんこいな」「じょうずだな」と笑顔で言ったり手拍子をしたり、ベッドの上で指揮する方もおりました。最後は『かたたき』の曲に合わせて、お一人お一人の肩を優しく叩いて触れ合ってきました。涙を流している方、話しかけてくださる方、手を握ってほめてくださった方がいて、おじいちゃんおばあちゃんの温かい思いが子どもたちにも伝わりました。



地域の様々な方と触れ合える機会を得て、「思いやりを受けて思いやりが育つ」の言葉のように、小さな芽が育つことを応援していただいていることに深く感謝しております。



チャレンジデー in 大仙

どんな運動でも構いません。太田のパワーを全国に見せましょう。自宅でも、職場でも、田んぼでも、自分の好きな場所で参加しましょう

今年度の対戦相手は
おおむた

福岡県大牟田市!

みんなで体を動かしましょう!

太田のパワーを全国に。自宅でも、職場でも、田んぼでも、自分の好きな場所で参加しましょう。

まちとまちとがスポーツ(運動)を実施した住民の参加率を競う「チャレンジデー」。

「スポーツの力で日本を元気に!」をスローガンに体を動かしてみんなで参加し、地域を元気にしましょう。



5月27日(水曜日)

年度	参加者数	割合	対戦相手	備考
H22 (初参加)	4,370人	60.4%	vs 大分県 豊後大野市緒方町	61.6% 初参加の団体の中で全国3位
H23	3,719人	52.0%	vs 福岡県 みやこ町勝山	63.6%
H24	4,044人	57.7%	vs 岩手県 一関市藤沢町	73.6%
H25	3,766人 (36,050人)	54.4% (40.6%)	vs 長崎県 大村市	67.9% 大山市で初参加 ()は大山市の数字
H26	4,073人 (41,279人)	59.7% (47.1%)	vs 愛知県 碧南市	69.5%
H27	3,533人 (44,767人)	52.9% (51.7%)	vs 神奈川県 碧南市	30.9% 初勝利
H28	3,400人 (47,527人)	51.7% (55.7%)	vs 東京都 小金井市	82.6%
H29	4,136人 (70,541人)	64.2% (84.0%)	vs 山梨県甲斐市 & 鹿児島県霧島市	86.8% 90.0%
H30	3,931人 (76,648人)	62.5% (92.4%)	vs 香川県 丸亀市	93.9%
R元	4,423人 (72,648人)	71.4% (89.3%)	vs 兵庫県 豊岡市	88.5%
R2	5月27日 水曜日 午前0時~午後9時			VS 福岡県大牟田市

編集後記

2019年春の大型連休中に「平成」から「令和」へと年号が改まって間もない5月24日から17日間にわたり、「鈴木空如筆 法隆寺金堂壁画展」が太田文化プラザで開催され、市内外のたくさんの方からご来場いただきました。そして今年嬉しいことに鈴木空如の作品が、東京国立博物館(東京都台東区上野)において、3月13日から始まる特別展「法隆寺金堂壁画と百済観音」で展示されます(※新型コロナウイルスの感染予防のため、会期(未定)5月10日(日)となりました)。太田地域の偉人である鈴木空如の作品をはじめ金堂壁画に関連する作品や国宝が鑑賞できるまたとない機会でもあります。東京近郊にお出かけの際は是非とも足をお運びいただければと思います。

さて、今年度も、地域のたくさんの方からご理解とご支援をいただきながら各種事業を進めることができました。台風接近の影響で、奥羽太田ロードレース大会の中止や降雪不足により大台スキー場が1月末で営業終了となるなど残念なこともありましたが事故なく終えることができました。

少子高齢化による人口減少社会、また人生100年時代という長寿化社会を迎え、公民館は地域が賑わい元気になるよう人づくり、つながりづくり、地域づくりの拠点として、幅広い役割が期待されています。地域の皆さまと一緒に生涯学習活動してまいりますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。

今年度の『はばたき第23号』の発行にあたり記事、資料等の情報をいただいた皆さまに感謝申し上げます。ありがとうございます。

太田公民館長

黒澤伸朗

特報

令和2年9月2日(水)~3日(木)

第33回グラウンド・ゴルフ交歓秋田県大会
秋田奥羽太田グラウンド・ゴルフ場で開催!

“とどけよう スポーツの力を!”

個人の成績と団体の成績を競い、団体ゲームは各都道府県1チーム(6名)の成績を競います。